

TOPIC NSC キックオフ研究会が講演会を開催

日本セルフケア推進協議会の 設立を宣言

民間保険会社など多角的なメンバー

三輪芳弘氏



高橋淳氏



松下健氏



杉山貞之氏



島崎美奈子氏



堀美智子氏



NSC キックオフ研究会は1月29日、愛知県内のホテルにて講演会を開催した。同会は昨年11月の発足後、「日本型セルフケア」実現へ向けた方策について議論を重ねてきたが、同日に3回目の講演会を迎えたことを機に、「日本セルフケア推進協議会」(JSPA)を設立することを発表した。

同会の座長を務める三輪芳弘氏(興和代表取締役社長)は、これまでの医薬品を主軸に捉えた方策には限界があるとの見方を示した上で、「利用する生活者を中心としたヘルスケア全体を考えることが重要との理念から、日本型セルフケアという全く新しい概念が提唱さ

れた」と経緯を説明した。

新団体の人事については今後、詰めるが、会員については医薬品メーカーのほか、薬局、ドラッグストア、医師、薬剤師、民間保険会社、自治体、税理士、有識者など、多角的に募る方針を示した。

これまでの議論をまとめた提言も発表した。新団体は「生活者の日本型セルフケアの実践を推奨し、それに必要な情報収集と発信の場等をつくるために、広くセルフケアの各分野を結集し、関係団体・関係機関と連携する」などとしている。

同日は、基調講演「イノベーションがもたらす Society5.0時代へ

の期待と課題」として、経済産業省中部経済産業局長の高橋淳氏のほか、講演1「人工知能を活用したラストワンマイル配送ルート最適化と、ヘルスケア産業への活用の可能性」オプティマインド社長の松下健氏、講演2「ドラッグストアの将来像」スギヤマ薬品社長(NSCキックオフ研究会副座長)の杉山貞之氏、講演3「日本型セルフケア～少子高齢化/人口減少の時代を乗り越える～」三輪芳弘氏などが登壇した。基調講演の座長を東京都医師会理事の島崎美奈子氏、講演1～3の座長をエス・アイ・シー医薬情報部門責任者の堀美智子氏が務めた。